ポインティング デバイスおよびキーボード
ユーザ ガイド

初版：2009 年 10 月

製品番号： 539879-291

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1 ポインティング デバイスの使用
ポインティング デバイス機能のカスタマイズ 1
タッチパッドの使用 2
ポインティング スティックの使用 2
外付けマウスの接続 2

2 キーボードの使用
ホットキーの使用 3
システム情報を表示する（fn + esc） 4
スリープを開始する（fn + f3） 4
画面を切り替える（fn + f4） 4
バッテリ残量についての情報を表示する（fn + f8） 5
画面の輝度を下げる（fn + f9） 5
画面の輝度を上げる（fn + f10） 5
周辺光センサの有効/無効を切り替える（fn + f11） 5

3 [HP Quick Launch Buttons]（HP クイック ローンチ ボタン）の使用
[HP Quick Launch Buttons]（HP クイック ローンチ ボタン）の[設定]へのアクセス 8
[Q Menu]（Q メニュー）の表示 9

4 [HP QuickLook 2]の使用
[HP QuickLook 2]の設定 11
手動での情報収集の使用 12
[HP QuickLook 2]の使用 13
詳細情報 14

5 テンキーの使用
内蔵テンキーの使用 16
内蔵テンキーの有効/無効の切り替え 16
内蔵テンキーの機能の切り替え 16
別売の外付けテンキーの使用 16

6 タッチパッドとキーボードの清掃

1 ポインティング デバイスの使用

名称		説明
(1)	ポインティング スティック	ポインタを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(2)	左のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(3)	タッチパッド*	ポインタを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(4)	左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(5)	右のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
(6)	タッチパッドのスクロール ゾーン*	画面を上下にスクロールします
(7)	右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します

*この表では初期設定の状態について説明しています。ポインティング デバイスの設定を表示したり変更したりするには、**[スタート]**→**[デバイスとプリンター]**の順に選択します。次に、お使いのコンピュータを表すデバイスを右クリックして、**[マウス設定]**を選択します。

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインタ オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows®の[マウスのプロパティ]を使用します。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、**[スタート]**→**[デバイスとプリンター]**の順に選択します。次に、お使いのコンピュータを表すデバイスを右クリックして、**[マウス設定]**を選択します。

タッチパッドの使用

ポインタを移動するには、タッチパッドの表面でポインタを移動したい方向に指をスライドさせます。タッチパッド ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。タッチパッドのスクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。

注記： タッチパッドを使用してポインタを移動しているとき、指をスクロール ゾーンに移動するには、その前に指をタッチパッドから離す必要があります。タッチパッドからスクロール ゾーンに指をスライドさせるのみでは、スクロール機能はアクティブになりません。

ポインティング スティックの使用

ポインティング スティックを移動したい方向に向かって押しつけます。ポインティング スティックの左右のボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します。

外付けマウスの接続

USB コネクタのどれかを使用して外付け USB マウスをコンピュータに接続できます。USB マウスは、別売のドッキング デバイスまたは拡張製品のコネクタを使用してシステムに接続することもできます。

2 キーボードの使用

ホットキーの使用

ホットキーは、fn キー（**1**）と、esc キー（**2**）またはファンクション キーのどれか（**3**）の組み合わせです。

f3、f4、および f8 ～ f11 の各キーのアイコンは、ホットキーの機能を表します。ホットキーの機能および操作についてこの章の各項目で説明します。

機能	ホットキー
システム情報を表示する	fn + esc
スリープを開始する	fn + f3
画面を切り替える	fn + f4
バッテリ情報を表示する	fn + f8
画面輝度を下げる	fn + f9
画面輝度を上げる	fn + f10
周辺光センサの有効/無効を切り替える	fn + f11

ホットキー コマンドをコンピュータのキーボードで使用するには、以下のどちらかの操作を行います。

- 短く fn キーを押してから、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。

  または

- fn キーを押しながら、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押し、両方のキーを同時に離します。

システム情報を表示する（fn ＋ esc）

fn ＋ esc ホットキーを押すと、システムのハードウェア コンポーネントおよびシステム BIOS のバージョン番号に関する情報が表示されます。

fn ＋ esc ホットキーで表示される画面では、システム BIOS のバージョンは BIOS の日付として表示されます。一部の機種では、BIOS の日付は 10 進数形式で表示されます。BIOS の日付はシステム ROM のバージョン番号と呼ばれることもあります。

スリープを開始する（fn ＋ f3）

△ **注意：** 情報の損失を防ぐために、スリープを開始する前に必ずデータを保存してください。

スリープを開始するには、fn ＋ f3 キーを押します。

スリープを開始すると、情報がシステム メモリに保存され、画面表示が消えて節電モードになります。コンピュータがスリープ状態のときは電源ランプが点滅します。

スリープを開始するには、コンピュータの電源が入っている必要があります。

注記： コンピュータがスリープ状態のときに完全なロー バッテリの状態になった場合、コン ピュータはハイバネーションを開始して、メモリ内の情報をハードドライブに保存します。完全なロー バッテリの状態になった場合の出荷時設定はハイバネーションですが、この設定は、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]で変更できます。

スリープ状態を終了するには、電源ボタンを短く押します。

fn ＋ f3 ホットキーの機能は変更が可能です。たとえば、スリープではなくハイバネーションを開始するように fn ＋ f3 ホットキーを設定することもできます。

注記： Windows オペレーティング システムのウィンドウでの**スリープ ボタン**に関する記述はすべて、fn ＋ f3 ホットキーに当てはまります。

画面を切り替える（fn ＋ f4）

システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、fn ＋ f4 を押します。たとえば、コンピュータに外付けモニタを接続している場合は、fn ＋ f4 を押すと、コンピュータ本体のディスプレイ、外付けモニタのディスプレイ、コンピュータ本体と外付けモニタの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニタは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピュータからビデオ情報を受け取ります。fn ＋ f4 ホットキーでは、コンピュータからビデオ情報を受信する他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

以下のビデオ伝送方式が fn ＋ f4 ホットキーでサポートされます。かっこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD（コンピュータ本体のディスプレイ）
- 外部 VGA（ほとんどの外付けモニタ）
- S ビデオ（S ビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤ、ビデオ デッキ、およびビデオ キャプチャ カード）
- HDMI（HDMI コネクタを備えたテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤ、ビデオ デッキ、ビデオ キャプチャ カード）
- コンポジット ビデオ（コンポジット ビデオ入力コネクタを備えたテレビ、ビデオカメラ、DVD プレーヤ、ビデオデッキ、ビデオ キャプチャ カード）

注記： コンポジット ビデオ デバイスをシステムに接続するには、別売のドッキング デバイスを使用する必要があります。

バッテリ残量についての情報を表示する（fn ＋ f8）

取り付けられているすべてのバッテリの残量についての情報を表示するには、fn ＋ f8 を押します。ディスプレイに、充電中のバッテリが表示され、各バッテリの残量がレポートされます。

画面の輝度を下げる（fn ＋ f9）

fn ＋ f9 ホットキーを押すと、画面の輝度を下げることができます。ホットキーを押したままにすると、輝度が少しずつ下がります。

画面の輝度を上げる（fn ＋ f10）

fn ＋ f10 ホットキーを押すと、画面の輝度を上げることができます。ホットキーを押したままにすると、輝度が少しずつ上がります。

周辺光センサの有効/無効を切り替える（fn ＋ f11）

周辺光センサの有効/無効を切り替えるには、fn ＋ f11 を押します。

3 [HP Quick Launch Buttons]（HP クイック ローンチ ボタン）の使用

[HP Quick Launch Buttons]（HP クイック ローンチ ボタン）を使用すると、頻繁に使用するプログラム、ファイル、Web サイトをすばやく開くことができます。以下の表に記載する工場出荷時設定を使用できます。または、[HP Quick Launch Buttons]の[設定]で[Q Menu]（Q メニュー）を起動して、ボタンを再設定することもできます。

[HP Quick Launch Buttons]には、インフォ ボタン（**1**）およびプレゼンテーション ボタン（**2**）が含まれます。

以下の表に[HP Quick Launch Buttons]の出荷時設定を示します。

注記： ボタンの機能は、お使いのコンピュータにインストールされているソフトウェアによって異なります。

	名称	説明
（**1**）	インフォ ボタン	[Info Center]（インフォ センター）を起動します。[Info Center]には、以下のような機能へのショートカットが含まれています **注記：** お使いのコンピュータによっては、一覧に記載されていても、一部の機能が搭載されていない場合があります ● HP Wireless Assistant ● HP ProtectTools スイート

	名称	説明
		● HP 3D DriveGuard ● HP Recovery Manager ● HP ヘルプとサポート ● HP ノートブック オプション製品ツアー ● HP ノートブック製品ツアー ● HP 製品ユーザ ガイド ● HP Connection Manager ● HP Software Setup ● Presto!BizCard 5
（**2**）	プレゼンテーション ボタン	[Presentation Options]（プレゼンテーション オプション）ウィンドウを開きます。ここで、頻繁に使用するプレゼンテーション、ファイル、プログラム、または Web サイトを起動できます。また、画面表示を最適な設定に調整することもできます

[HP Quick Launch Buttons]（HP クイック ローンチ ボタン）の[設定]へのアクセス

[HP Quick Launch Buttons]（HP クイック ローンチ ボタン）の[設定]にある[Q Menu]（Q メニュー）では、インフォ ボタンおよびプレゼンテーション ボタンの設定をカスタマイズできます。どちらのボタンも、頻繁に使用するプログラムを起動するために使用できます。

[HP Quick Launch Buttons]の[設定]画面は、以下のどちらかの方法で開くことができます。

- **[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP Quick Launch Buttons]**の順に選択します。

  または

  タスクバーの右端にある通知領域の**[隠れているインジケーターを表示します]**アイコンをクリックします。**[HP Quick Launch Buttons]**アイコンを右クリックして**[Q Menu の起動]**をクリックします。

[Q Menu]（Q メニュー）の表示

[Q Menu]（Q メニュー）を使用すると、[HP Quick Launch Buttons]の設定にすばやくアクセスできます。

デスクトップで[Q Menu]を表示するには、以下の操作を行います。

▲ タスクバーの右端にある通知領域の**[隠れているインジケーターを表示します]**アイコンをクリックします。**[HP Quick Launch Buttons]**アイコンを右クリックして**[Q Menu の起動]**をクリックします。

注記： [Q Menu]の項目に関する画面上での説明については、ウィンドウの右上隅にあるヘルプ ボタンを選択してください。

4 [HP QuickLook 2]の使用

[HP QuickLook 2]を使用すると、オペレーティング システムを起動しなくても、[Microsoft® Outlook]の電子メール、予定表、連絡先、および仕事の情報を表示できます。[HP QuickLook 2]が設定されていれば、コンピュータの電源が切れているときやハイバネーション状態のときに、コンピュータのインフォ ボタンを押すことで、すぐに重要な情報にアクセスできます。

[HP QuickLook 2]の設定

[HP QuickLook 2]を設定するには、以下の操作を行います。

1. [Microsoft Outlook]を開きます。

   [HP QuickLook 2]から、[Microsoft Outlook]のツールバーに以下の 2 つのアイコンが表示されます。

   [QuickLook 2 Preferences]（QuickLook 2 の設定）アイコンでは、自動データ収集の設定を行えます。

   [QuickLook Capture]（QuickLook への取り込み）アイコンでは、自動取得に加え、[HP QuickLook 2]の情報取り込みを手動で開始できます。

注記： 大半のタスクでは、[QuickLook 2 Preferences]アイコンを使用します。

2. [Outlook]ツールバーにある**[QuickLook 2 Preferences]**（QuickLook 2 の設定）アイコンをクリックします。

   [QuickLook 2 Preferences]ダイアログ ボックスが表示されます。

3. 以下の設定を行います。

   - [HP QuickLook 2]によって[Microsoft Outlook]から情報を取り込み、ハードドライブ上に保存するタイミング
   - 予定表、連絡先、電子メール、タスクで表示するデータの種類

4. 必要に応じて[security]（セキュリティ設定）を選択して、個人識別番号（PIN）を設定します。

手動での情報収集の使用

事前に設定された間隔で情報収集を行うように[HP QuickLook 2]を設定済みであっても、[Microsoft Outlook]のアカウントにログオンするといつでも[Microsoft Outlook]の情報を手動で収集することができます。

[HP QuickLook 2]の使用

インフォ ボタンの機能は、[HP QuickLook 2]を設定しているかどうかによって異なります。

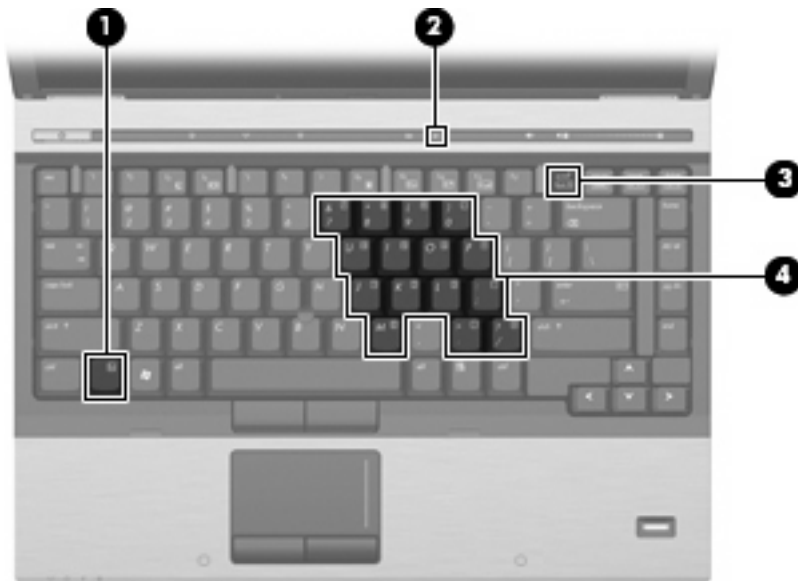
[HP QuickLook 2]の設定前にインフォ ボタンを押すと、コンピュータの電源がオン、オフ、スリープまたはハイバネーション状態であるかにかかわらず、[Info Center]（インフォ センター）が起動します。[HP QuickLook 2]の設定後は、インフォ ボタンを押すと、コンピュータの電源の状態によって[Info Center]または[QuickLook]のどちらかが開きます。

電源の状態	ボタンの動作
オフ	[HP QuickLook 2]が開く
ハイバネーション	[HP QuickLook 2]が開く
オン	[Info Center]が開く
スリープ	コンピュータが前の状態に戻ります

詳細情報

[HP QuickLook 2]の設定および使用方法について詳しくは、[HP QuickLook 2]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

5 テンキーの使用

お使いのコンピュータには、テンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。

	名称	説明
(1)	fn キー	ファンクション キーまたは esc キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します
(2)	Num Lock ランプ	点灯：Num Lock がオンの状態です
(3)	num lk キー	fn キーと一緒に押すと、内蔵テンキーの有効/無効が切り替わります
(4)	内蔵テンキー	外付けテンキーと同様に使用できます。上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです

内蔵テンキーの使用

内蔵テンキーの 15 個のキーは、外付けテンキーと同様に使用できます。内蔵テンキーが有効のときは、テンキーを押すと、そのキーの手前側面にあるアイコン（日本語キーボードの場合）で示された機能が実行されます。

内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、fn ＋ num lk を押します。fn ＋ num lk キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。

注記： 外付けキーボードやテンキーがコンピュータまたは別売のドッキング デバイスに接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

内蔵テンキーの機能の切り替え

fn キーまたは fn ＋ shift キーを使用して、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能とを一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効のときに、テンキーからの入力をテンキー機能（数字等の入力）に変更するには、fn キーを押しながらキーを押します。
- テンキーが有効のときに、テンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、以下の操作を行います。
  - 小文字を入力するには、fn キーを押しながら文字を入力します。
  - 大文字を入力するには、fn ＋ shift キーを押しながら文字を入力します。

別売の外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lock がオンのときとオフのときとで機能が異なります。（出荷時設定では、Num Lock はオフになっています）。たとえば、次のようになります。

- Num Lock がオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lock がオフのときは、矢印キー、page up キー、page down キーと同様に機能します。

作業中に外付けテンキーの Num Lock モードのオンとオフを切り替えるには、以下の操作を行います。

▲ コンピュータではなく、外付けテンキーの num lk キーを押します。

6　タッチパッドとキーボードの清掃

タッチパッドにごみや脂が付着していると、ポインタが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃し、コンピュータを使用するときは手をよく洗ってください。

⚠ **警告！**　感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使用してキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくることがあります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃してください。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使用してキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみがはがれて取り除きやすくなります。

索引

F
fn キー　3

H
HDMI　5
[HP Quick Launch Buttons]　6
[HP Quick Launch Buttons]の[設定]　6
[HP QuickLook 2]　10

N
Num Lock、外付けキーボード　16

S
S ビデオ　5

い
インフォ ボタン　6

か
画面の輝度のホットキー　5
画面表示、切り替え　4

き
キーボード ホットキー、位置と名称　3

こ
コンポジット ビデオ　5

し
システム情報のホットキー　4
周辺光センサの有効/無効を切り替える
　ホットキー　5

す
スクロール ゾーン、タッチパッド　1
スリープ
　ホットキー　4

た
タッチパッド
　確認　1
　使用　2
　スクロール ゾーン、位置　1
タッチパッド ボタン、位置　1

て
ディスプレイ
　画像、切り替え　4
　画面の輝度のホットキー　5
テンキー、外付け
　Num Lock　16
　使用　16
テンキー、内蔵
　確認　15
　キーの機能の切り替え　16
　使用　16
　有効化および無効化　16

は
バッテリ残量についての情報を表示する　5

ひ
ビデオ伝送方式　5

ふ
ファンクション キー　3
プレゼンテーション ボタン　7

ほ
ポインティング スティック
　確認　1
　使用　2
ポインティング スティック ボタン、位置　1
ポインティング デバイス
　オプションの設定　1
　使用　2
ボタン
　HP クイックローンチ　6
　インフォ　6
　タッチパッド　1
　プレゼンテーション　7
　ポインティング スティック　1
ホットキー
　画面の輝度を上げる　5
　画面の輝度を下げる　5
　画面を切り替える　4
　システム情報を表示する　4
　周辺光センサの有効/無効を切り替える　5
　使用　4
　スリープを開始する　4
　説明　3
　バッテリ残量についての情報を表示する　5

ま
マウス、外付け
　オプションの設定　2
　接続　2